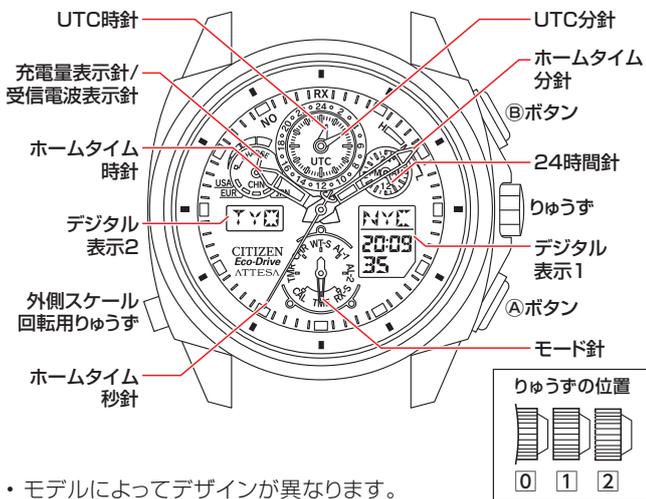


# U680 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 U680取扱説明書

## 各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。
- スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ(<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>)をご参照ください。

## LED照明を使う

- りゅうずの位置が②のときに②ボタンを押すと、LED照明が約2秒間点灯します。
- ただし、次の場合はLED照明は点灯しません。
- タイマーモードやクログラフモードを使用しているとき。
  - 電波受信中。
  - 2秒運針中(充電警告状態)。

## 充電量を確認する

充電量表示で現在のおおよその充電量を確認できます。十分に充電された状態でお使いください。

充電量のレベル表示

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
持続時間(目安値)	約130日~180日 十分充電されています。安心してお使いいただけるレベルです。	約20日~130日 充電状態は良好です。安心してお使いいただけるレベルです。	約3日~20日 やや充電量が不足しています。充電を心がけてください。	約3日 充電不足です。すぐに充電をしてください。充電警告をお知らせするレベルです。

## 電波受信の結果を確認する

- この時計は、標準電波を毎日午前2時に受信し、時計/カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前3時と午前4時に再度受信を試みます。
- 午前4時の定時受信の時間は任意に変更ができます。「定時受信設定を行う」の項目をご覧ください。

- りゅうずの位置を①にする
- りゅうずを回して、モードを「TME」、「CAL」または「RX-S」のいずれかにセットする
- りゅうずの位置を②にする

- ②ボタンを押す  
秒針が、受信結果(「H」「M」「L」または「NO」)を指し、充電量表示針が、受信した標準電波を示します。  
・デジタル表示2に、ホームタイムのサマータイム設定状態を表示します。(「SMT」と「ON」または「OFF」が交互に点滅します)。

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信したとき。
M	良い状態で電波を受信したとき。
L	良くない状態で電波を受信したとき。
NO	受信に失敗したとき。 (手動で受信を行ってください)

- 「H」、「M」、「L」の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。
- 受信に失敗している場合は、「電波を手動で受信する」の手順に従い、電波受信をしてください。

## 5. ②ボタンを押して終了する

- 現在の時刻に戻ります。
- ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

## 電波を手動で受信する(強制受信)

受信が完了するまでに最大15分程かかります。

- りゅうずの位置を①にする
- りゅうずを回して、モードを「CAL」、「TME」、または「RX-S」にする
- りゅうずの位置を②にする
- ②ボタンを2秒間以上押し続ける

確認音が鳴り、秒針が「RX」を指したら離します。  
秒針が、「H、MまたはL」に移動後、電波受信を始めます。  
受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。

受信に成功した場合：修正された時刻を表示します。  
受信に失敗した場合：時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。

## 都市を設定する

・この時計では、ホームタイムに設定する都市によって、電波受信の受信局が異なります。

1. リゅうずの位置を①にする
2. リゅうずを回して、モードを「TME」、または「CAL」のいずれかにセットする
3. ④ボタンまたは⑥ボタンを押して、都市を設定する
  - ・デジタル表示1に都市名と時刻が表示されます。
  - ・⑥ボタンを押すと、都市名一覧の左上から右下の順に都市名が表示され、④ボタンを押すと、右下から左上の順に都市名が表示されます。
4. ④ボタンと⑥ボタンを同時に押す  
ホームタイムとワールドタイムが入れ替わり、3で設定した都市名が、デジタル表示2に表示され、アナログの時刻が表示された都市の時刻に修正されます。
5. リゅうずの位置を②にして、終了する

### 都市名一覧

略称	都市名	時差	電波局	略称	都市名	時差	電波局	
UTC	協定世界時	0	---	TYO	東京	+9	JPN	
LON	ロンドン	0	EUR	ADL	アデレード	+9.5	JPN◆	
MAD	マドリッド	+1		SYD	シドニー	+10		
PAR	パリ	+1		NOU	ヌーメア	+11		
ROM	ローマ	+1		AKL	オークランド	+12		
BER	ベルリン	+1		SUV	スバ	+12		
CAI	カイロ	+2		MDY	ミッドウェー	-11		USA◆
ATH	アテネ	+2		HNL	ホノルル	-10		
JNB	ヨハネスブルグ	+2		ANC	アンカレジ	-9		
MOW	モスクワ	+3		YVR	バンクーバー	-8		
RUH	リヤド	+3		LAX	ロサンゼルス	-8		
THR	テヘラン	+3.5	DEN	デンバー	-7			
DXB	ドバイ	+4	MEX	メキシコシティ	-6			
KBL	カブール	+4.5	CHI	シカゴ	-6			
KHI	カラチ	+5	NYC	ニューヨーク	-5			
DEL	デリー	+5.5	YMQ	モントリオール	-5			
DAC	ダッカ	+6	SCL	サンティアゴ	-4	USA◆		
RGN	ヤンゴン	+6.5	RIO	リオデジャネイロ	-3			
BKK	バンコク	+7	FEN	フェルナンドデノロニャ諸島	-2		EUR◆	
SIN	シンガポール	+8	PDL	ボンタデルガダ	-1			
HKG	香港	+8	CHN	HOM	ホーム(任意時差)		任意	時差による
BJS	北京	+8						
TPE	台北	+8						
SEL	ソウル	+9	JPN					

- ・「EUR」→ヨーロッパ電波、「CHN」→中国電波、「JPN」→日本電波、「USA」→アメリカ電波の略称です。
- ・一覧表の時差は、UTC(協定世界時)からの時差です。
- ・一覧表にない都市で時計を使用する場合は、同じ時差の都市を設定してください。
- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ・◆の都市は受信範囲外であり、受信することはできません。(受信時には各局の電波を受信しようと動作します)
- ・電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

## サマータイムを設定する

受信したサマータイム信号を、時刻に反映させるかを選択します。

1. リゅうずの位置を①にする
2. リゅうずを回して、モードを「RX-S」にする
3. リゅうずの位置を②にする  
「AU」または「mA」が点滅して、修正状態になります。  
AU(オート)：受信したサマータイム信号を時刻に反映させます。  
mA(マニュアル)：受信したサマータイム信号を時刻に反映させません。
4. ④ボタンを押して、「AU」または「mA」を選択する
5. リゅうずの位置を②にして、終了する

## 定時受信設定を行う

定時受信の時間を任意に設定することができます。  
MAN(マニュアル)：午前4時の定時受信時刻を、ホームタイムの任意時刻に1時間単位で変更できます。午前2時、3時には設定できません。  
OFF(オフ)：定時受信を行いません。  
AUT(オート)：初期設定通りの時刻(午前2時、3時、4時)に定時受信を行います。

1. リゅうずの位置を①にする
2. リゅうずを回して、モードを「RX-S」にする
3. リゅうずの位置を②にする
  - ・サマータイム受信設定状態になります。
4. ⑥ボタンを押す
  - ・定時受信設定状態になり、現在設定されている定時受信状態が点滅します。
5. ④ボタンをくり返し押して、定時受信の方法を選択する  
④ボタンを押すごとに、「AUT」→「MAN」→「OFF」の順に修正箇所が切り替わります。  
「MAN」を選択した場合はリゅうずを回して、受信時刻を変更します。
6. リゅうずの位置を②にして、終了する

## ワールドタイムセットを使う

この時計で表示できる44都市(UTC以外)の中から、表示したい都市の選択と、各都市のサマータイムのセットができます。また、ユーザー設定都市「HOM」に、任意の時差を15分単位で設定できます。

1. リゅうずの位置を①にする
2. リゅうずを回して、モードを「WT-S」にする
3. リゅうずの位置を②にする  
デジタル表示2が消灯し、デジタル表示1に表示されている都市のサマータイムの「ON」または「OF」が点滅します。  
・初期設定はすべて「OF(OFF)」になっています。
4. ④ボタンを押して、サマータイムを設定する  
リゅうずを回して、他の都市のサマータイムを設定します。すべての都市のサマータイムの設定が終わったら、5に進みます。
5. ⑥ボタンを押して、都市の表示/非表示設定状態に切り替える  
リゅうずを回して都市を選択します。
6. ④ボタンを押して、「SET」(表示)、「OFF」(非表示)を切り替える  
5と6をくり返し、他の都市も設定します。
7. リゅうずの位置を②にして、終了する

## 任意時差の設定

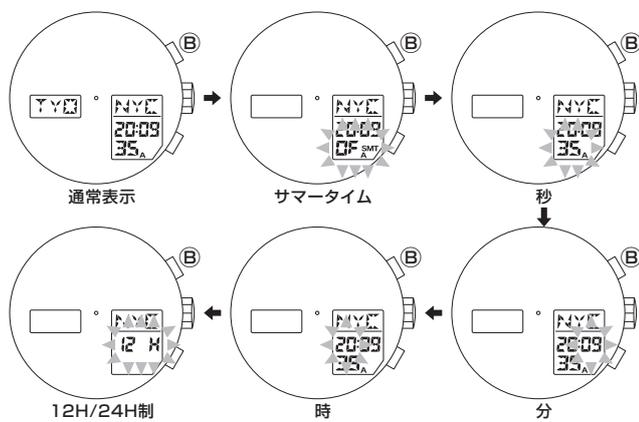
1. 「WT-S」で、リゅうずの位置を②にする
2. リゅうずを回して、「HOM」を選択する
  - ・ONまたはOFが点滅して、サマータイム設定状態になります。
3. ⑥ボタンをくり返し押して、時差設定状態にする
  - ・⑥ボタンを押すごとに、「サマータイムON/OFF」、「都市の表示SET/OFF」、「時差設定」が切り替わります。
4. リゅうずを回して、時差を設定する
  - ・UTCからの時差を15分単位で設定できます。
5. リゅうずの位置を②にして、終了する

## デジタル表示の時刻とカレンダーを手動で合わせる

### 時刻を合わせる

・アナログの時刻(時針/分針/秒針)は、デジタル表示の時刻と連動します。

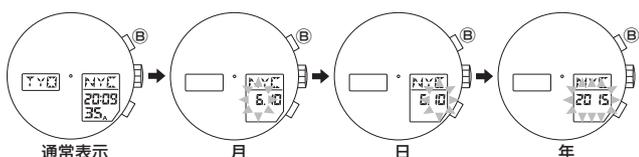
1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モードを「TME」にする
3. ④ボタンまたは⑥ボタンを押して、都市を選択する
4. リューズの位置を②にする  
秒針が0秒位置に移動し、ホーム都市(デジタル表示2)が消灯します。  
サマータイム設定が点滅して、合わせられるようになります。
5. ④ボタンを押して、サマータイムの「ON/OF」を切り替える
6. ⑥ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ  
⑥ボタンを押すごとに、次のように対象が変わります。



7. ④ボタンを押すか、リューズを回して、合わせる  
「時」、「分」の修正はリューズ、サマータイム、秒、24H制の修正は④ボタンで行います。
8. 手順6、7をくり返し、他の対象を合わせる
9. リューズの位置を③にして、終了する

### カレンダーを合わせる

1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モードを「CAL」にする
3. ④ボタンまたは⑥ボタンを押して、都市を選択する
4. リューズの位置を②にする  
ホーム都市と曜日が非表示になり、「月」が点滅して合わせられるようになります。
5. リューズを回して、「月」を合わせる
6. ⑥ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ  
⑥ボタンを押すごとに、次のように対象が変わります。



7. リューズを回して、合わせる
8. 手順6、7をくり返し、他の対象を合わせる
9. リューズの位置を③にして、終了する

## アナログの時刻とデジタルの時刻を入れ替える

・この時計のアナログ表示の時刻は、直接時計合わせをすることができません。  
表示したい地域の時刻を一度デジタル表示に表示させ、デジタル表示1の時刻をアナログ表示の時刻と入れ替えて表示させます。

1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モードを「TME」または「CAL」にする
3. ④ボタンと⑥ボタンを同時に押す  
デジタル表示1の時刻とアナログ表示の時刻(時針/分針/24時間針)が入れ替わります。

## アラームを使う

・アラームは「AL-1」、「AL-2」にそれぞれ設定することができます。  
・「AL-1」と「AL-2」のアラーム音は異なります。

1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モードを「AL-1」または「AL-2」にする
3. リューズの位置を②にする  
設定されている都市名が表示され、「ON」または「OF」が点滅します。
4. ④ボタンを押して、アラームの「ON/OF」を設定する
5. ⑥ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ  
⑥ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。  
ON/OF→都市名→アラーム時→アラーム分
6. ④ボタンを押すかリューズを回して、合わせる  
都市の選択、時、分の修正はリューズで行います。  
アラームの「ON/OF」の設定は④ボタンで行います。
7. 手順5、6をくり返し、他の対象を合わせる
8. リューズの位置を③にして、終了する

### アラーム音をとめる

④または⑥ボタンを押します。  
・アラーム音は、15秒間鳴ります。

### アラーム音を確認する

「AL-1」または「AL-2」モードで、リューズの位置を①にして④ボタンを押すと、押している間アラーム音を確認することができます。

## クロノグラフを使う

1/100秒単位、最大24時間まで計測できます。  
・クロノグラフ計測中は電波の受信はできません。  
・他のモードに切り替えても計測は継続されます。

1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モードを「CHR」にする
3. リューズの位置を③にする
4. ⑥ボタンを押す  
確認音が鳴り、計測が始まります。  
スタート/ストップ：⑥ボタンを押します。  
リセット：ストップ中に、④ボタンを押します。  
・計測中に④ボタンを押すと、経過時間(スプリットタイム)が10秒間表示され、「SPL」が点滅します。

## タイマーを使う

最大99分まで、1分刻みでタイマーを設定することができます。  
 ・モードを切り替えてもタイマーは継続されます。  
 ・りゅうずの位置が①以外のときは、タイムアップ音は鳴りません。  
 ・タイマー計測中は電波の受信はできません。

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モードを「TMR」にする
  - ・デジタル表示2に、「SET」が表示され、デジタル表示1の分表示が点滅します。
3. りゅうずの位置を②にする
4. りゅうずを回して、タイマー時間を設定する
5. りゅうずの位置を③にする
6. ⓑボタンを押す
 

確認音が鳴り、タイマーがスタートします。  
 スタート/ストップ：ⓑボタンを押します。  
 リセット：ストップ中に、Ⓐボタンを押します。  
 ・タイマー作動中にⒶボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。

## 設定時間が過ぎると

タイムアップ音が5秒間鳴ります。  
 音を止めるには、Ⓐまたはⓑボタンを押します。

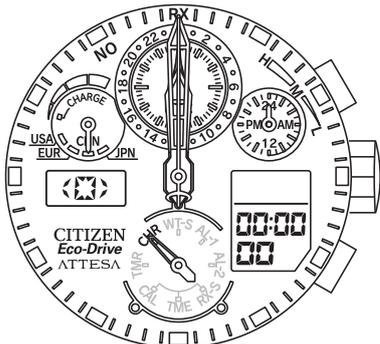
## 基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モードを「CHR」にする
3. りゅうずの位置を②にする
 

各針が動き、現在の基準位置を表示します。

  - ・正しい基準位置
    - 「充電量表示針」：CHN
    - 「UTC時、分針」：0時0分
    - 「時、分、秒針」：0時0分0秒
    - 「24時間針」：0時

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。



4. りゅうずの位置を③にして、終了する

## 基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モードを「CHR」にする
3. りゅうずの位置を②にする
 

各針が動き、現在の基準位置を表示します。
4. ⓑボタンを約2秒間押し続ける
  - ・デジタル表示2が「CHA」の点滅に切り替わり、充電量表示針の基準位置が合わせられるようになります。
5. りゅうずを回し、充電量表示針の基準位置を合わせる
  - ・「CHN」の中央に合わせます。
6. ⓑボタンを押す
 

「UTC」が点滅し、UTC針(時針、分針)の基準位置修正状態になります。
7. りゅうずを回し、UTC時針、分針を00時00分に合わせます。
  - ・Ⓐボタンを押すと分針が動いてUTC針が見やすくなります。再度Ⓐボタンを押すと元の位置に戻ります。
8. ⓑボタンを押す
 

「HR」が点滅し、時針の基準位置修正状態になります。
9. りゅうずを回して、0時に合わせる
 

24時間針が連動して動くので、午前、午後に注意して合わせてください。

  - ・Ⓐボタンを押すと分針が動いて時針が見やすくなります。再度Ⓐボタンを押すと元の位置に戻ります。
10. ⓑボタンを押す
 

「MIN」が点滅し、分針の基準位置修正状態になります。
11. りゅうずを回して、00分に合わせる
12. ⓑボタンを約2秒間押し続けて、基準位置修正を終了する
13. りゅうずの位置を③にして、終了する

## オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モードを「CHR」にする
3. りゅうずの位置を②にする
4. Ⓐボタンとⓑボタンを同時に押し離す
 

デジタル部が全点灯表示され、時計が初期設定された後、確認音が鳴り、針がデモ運針します。

## オールリセットのあとは

- ・デモ運針終了後、基準位置確認状態に切り替わりますので、「基準位置を修正する」を参照して、基準位置修正を行ってください。